

子どもが遊ぶようにと挑戦したものの、端切れの縫い合わせ方がさっぱりわからず、あえなく挫折してしまったことのあるお手玉作り。今度こそはと手作りカフェにやってきました。

自己流で縫い始めましたが、やはりうまくいきません。それではと、教えてもらうことにしました。

端切れをかざぐるまのように組み合わせるから、縫い進めていくと、布が2組の舟の形に縫いあがりました。ここまでくればあと一息。2組の布を縫い合わせ、じゅず玉を入れ、最後の一边をとじれば完成です。昔の人が考えた布の組み合わせの美しさにはただただ感心させられました。

子ども用には、俵形のお手玉が用意されていました。ジ



ュズ玉を入れ、開いている口をしぼり、早々とお手玉を完成させると、さっそくお手玉で遊びはじめた子どもたち。何回も頑張ってみるのですが、なかなか思い通りにはできません。すぐにお手玉を落としてしまいま



す。次はあめ作りです。きなこを回りに飛び散らせながら、子どもが中心になって作りました。ただの丸い形では満足できず、へびやうさぎ、ドーナツなど思い思いのきなこあめが完成しました。たくさんできたのでおみやげの分まであり、みんなとてもうれしそうでした。日ごろあまり口にする事のない素朴な味に何か感じるものがあったかもしれません。

(金井町 石川)